

製品名: TRF2 (12B2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19241**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	60kDa

抗原情報

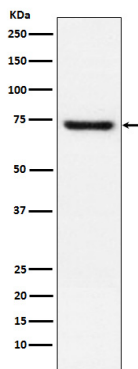
遺伝子名	TERF2
別名	Terf2; TRBF2; TRF2;
遺伝子 ID	7014.0
SwissProt ID	Q15554
免疫原	ヒト TRF2 の合成ペプチド

背景

テロメアの二本鎖 5'-TTAGGG-3'リピートに結合し、テロメアの維持と染色体の端から端までの融合に対する保護において中心的な役割を果たします。テロメア DNA 結合役割に加えて、シェルタリン複合体、TERF2IP/RAP1、DCLRE1B/Apollo など、テロメア保護に必要な多くの因子と酵素をリクルートするために必要です。テロメアの二本鎖 5'-TTAGGG-3'リピートに結合し、テロメアの維持と染色体の端から端までの融合に対する保護において中心的な役割を果たします。テロメア DNA 結合役割に加えて、シェルタリン複合体、TERF2IP/RAP1、DCLRE1B/Apollo など、テロメア保護に必要な多くの因子と酵素をリクルートするために必要です。シェルタリン複合体（テロソーム）の構成要素で、テロメアの長さや保護の調節に関与しています。シェルタリンは、テロメラーゼによって付加される二本鎖 5'-TTAGGG-3' リピートの配列と会合し、染色体末端を保護します。シェルタリンの保護活性がないと、テロメアは DNA 損傷監視から隠蔽されなくなり、染色体末端は DNA 修復経路によって不適切に処理されます。DCLRE1B/Apollo とともに、末端テロメアに 3' 一本鎖オーバーハングを生成することで、テロメアループ（T ループ）形成に重要な役割を果たします。T ループは、染色体末端を分解や修復から保護すると考えられています。DCLRE1B/Apollo をテロメアにリクルートし、DCLRE1B/Apollo のエキソヌクレアーゼ活性を活性化するために必要です。ポジティブスーパーコイル DNA に優先的に結合します。DCLRE1B/Apollo と連携して、フォーク通過中のテロメア複製に必要な DNA トポイソメラーゼ（TOP1、TOP2A、TOP2B）の量を制御し、異常なテロメアトポロジーの形成を阻止します。TERF2IP/RAP1 をテロメアにリクルートすることで、テロメア長に影響を与える相同組換え修復（HDR）の抑制に関与します。

研究分野

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の TRF2 発現のウェスタン ブロット分析。